

## カーディフ・アシュアランス・ヴィ 平成 20 年度第 2 四半期（上半期）業績のご報告

カーディフ・アシュアランス・ヴィ(通称:カーディフ生命保険会社、日本における代表者:久米 保則、会社所在地:東京都渋谷区)の平成 20 年度第 2 四半期(上半期)の業績をお知らせします。

### 業績ハイライト

平成20年度第2四半期(上半期)におきましても、主力商品である「ガン保障特約付団体信用生命保険」の販売が好調に持続しました。さらに、7月より弊社初の女性限定、満期保険金付医療保険(商品名:「モドルージュ」)の販売を開始しました。これにより、弊社は団体信用生命保険、個人変額年金保険、医療保険の3つの商品体系が整いました。その結果、保険料等収入は、前年同期に比べ0.4%増の106億円となりました。また、団体保険保有契約高は、前年度末に比べ11.2%増の5兆9,410億円、個人保険・個人年金保険保有契約高は、前年度末に比べ18.9%増の134億円となりました。さらに、総資産は、前年度末に比べ6.7%増の403億円となり、着実に事業を拡大しています。

また、経常利益は、前年同期に比べ35.9%増の25億円となりました。ソルベンシー・マージン比率は、前年度末に比べ66.9ポイント低下し1,099.9%となりましたが、高い支払余力を維持しています。これらの数値が示す通り、厳しい市場環境の中でも、弊社は強固な経営基盤を擁しています。弊社の保険財務力格付けは、AA+ (スタンダード・アンド・プアーズ)\* という高い評価を維持しています。

#### <主要業績>

	平成 20 年度 第 2 四半期 (上半期)	前年同期比
保 険 料 等 収 入	10,633 百万円	100.4%
資 産 運 用 収 益	117 百万円	206.4%
保 険 金 等 支 払 金	3,891 百万円	135.2%
資 産 運 用 費 用	677 百万円	471.8%
基 礎 利 益	3,113 百万円	133.2%
経 常 利 益	2,565 百万円	135.9%

	平成 20 年度 第 2 四半期 (上半期) 末	前年度末比	
保有契約高	団 体 保 険	59,410 億円	111.2%
	個 人 保 険 ・ 個 人 年 金 保 険	134 億円	118.9%
総 資 産	403 億円	106.7%	
ソルベンシー・マージン比率	1,099.9%	-66.9 ポイント	

#### カーディフ・アシュアランス・ヴィ(カーディフ生命保険会社)について

カーディフ・アシュアランス・ヴィは、ヨーロッパ有数の金融グループであるBNPパリバの保険事業部門である、BNPパリバ・アシュアランスに属する会社です。日本においては、平成12年4月に日本支店を開設しました。主に銀行をパートナーとしてビジネスを行っており、平成20年9月30日現在、銀行50行、信用金庫1庫、ノンバンク等12社に商品を提供しております。平成13年に日本で初めて、ローン債務者がガンと診断された場合に債務返済に充当するための診断給付金をお支払いする「ガン保障特約付団体信用生命保険」を開発するなど、団体信用生命保険を主力商品としています。

\*格付けは、平成20年11月26日現在のものであり、将来的に変化する可能性があります。また、この格付けは本社(フランス)で取得したものであり、日本における事業だけのものではありません。

## 平成 20 年度第 2 四半期（上半期）業績報告

カーディフ・アシュアランス・ヴィ（通称：カーディフ生命保険会社、日本における代表者：久米 保則、会社所在地：東京都渋谷区）の平成 20 年度第 2 四半期（上半期）の業績をお知らせします。

資料中、「第 2 四半期（上半期）」は「4 月 1 日～9 月 30 日」を、「第 2 四半期会計期間」は「7 月 1 日～9 月 30 日」を表しております。

### <目 次>

1. 主要業績	… 1 頁
2. 一般勘定資産の運用状況	… 3 頁
3. 資産運用の実績（一般勘定）	… 4 頁
4. 中間貸借対照表	… 9 頁
5. 中間損益計算書	… 10 頁
6. 経常利益等の明細（基礎利益）	… 13 頁
7. 債務者区分による債権の状況	… 13 頁
8. リスク管理債権の状況	… 13 頁
9. ソルベンシー・マージン比率	… 14 頁
10. 特別勘定の状況	… 15 頁
（参考 - 1）第 2 四半期会計期間の業績	… 16 頁
（参考 - 2）証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について	… 20 頁

以 上

< 本件に関するお問い合わせ先 >  
カーディフ・アシュアランス・ヴィ（カーディフ生命保険会社）  
お客さま相談室 TEL：03-6415-8275  
受付時間：9:00~18:00（祝日、年末年始を除く月曜日～金曜日）

# 1. 主要業績

## (1) 保有契約高及び新契約高

### ・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成19年度 第2四半期 (上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末						平成19年度末	
	件数	金額	件数			金額			件数	金額
			前年 同期比	前年度 末比		前年 同期比	前年度 末比			
個人保険	-	-	0	-	-	0	-	-	-	-
個人年金保険	1	61	3	210.7	119.1	134	218.3	118.9	2	112
団体保険	-	48,063	-	-	-	59,410	123.6	111.2	-	53,443
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです(ただし個人変額年金保険の年金支払開始前契約については、基本保険金額を計上しています)。

### ・新契約高

(単位：千件、億円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)				平成20年度 第2四半期(上半期)				平成19年度				
	件数	金額			件数	金額			件数	金額			
		新契約	転換による 純増加			新契約	転換による 純増加			新契約	転換による 純増加		
個人保険	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-
個人年金保険	0	36	36	-	0	21	21	-	2	88	88	-	-
団体保険	-	-	-	-	-	5	5	-	-	0	0	-	-
団体年金保険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 新契約・転換による純増加の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です(ただし個人変額年金保険については、初回保険料相当額を計上しています)。

2. 団体保険の新契約高は、新契約として計上された月の単月の新契約高を表します。

新たに当社の団体保険契約の被保険者となった方的人数・金額の推移は、以下のとおりです。

### (参考) 新規の被保険者数・金額

(単位：千件、億円)

	平成19年度 第2四半期(上半期)		平成20年度 第2四半期(上半期)		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
団体保険	39	6,447	44	7,681	79	13,296

(注) 件数は被保険者数を表します。

## (2) 年換算保険料

### ・保有契約

(単位：億円、%)

区 分	平成19年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度 第2四半期 (上半期)末		前年度 末比	
		前年 同期比	前年度 末比		
個 人 保 険	-	0	-	-	平成19年度末 -
個 人 年 金 保 険	7	13	179.8	123.8	10
合 計	7	13	180.2	124.2	10
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	0	-	-	-

### ・新契約

(単位：億円、%)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)		平成19年度
		前年 同期比	前年度 末比	
個 人 保 険	-	0	-	-
個 人 年 金 保 険	2	2	97.6	6
合 計	2	2	98.8	6
うち医療保障・ 生前給付保障等	-	0	-	-

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

## (3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)		平成19年度
		前年 同期比	前年度 末比	
保 険 料 等 収 入	10,595	10,633	100.4	23,642
資 産 運 用 収 益	56	117	206.4	133
保 険 金 等 支 払 金	2,877	3,891	135.2	6,231
資 産 運 用 費 用	143	677	471.8	2,160

## (4) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	平成19年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度 第2四半期 (上半期)末		平成19年度末	
		前年 同期比	前年度 末比		
総 資 産	20,926	40,380	193.0	106.7	37,841

## 2. 一般勘定資産の運用状況

### (1) 運用環境

平成20年度上半期の日本経済は、原材料価格の高騰や海外経済の不透明感が高まるなかで、個人消費や設備投資が弱めの動きになるなど、減速傾向が強まる展開となりました。

こうした環境のもと、国内株式市場は前半こそ堅調に推移したものの、海外経済の減速や原材料価格の高騰による企業業績の悪化懸念から下落基調で推移する展開となりました。9月には米大手金融機関の合併や破綻、公的管理下への移行など金融システムの混乱や、世界経済への先行き不透明感から、更に下値を探る動きとなりました。この結果、上半期末の日経平均株価は対前年度末1,265円68銭下落の11,259円86銭となりました。

国内長期金利は、原材料価格高騰によるインフレ懸念や日銀の利上げ観測を背景に上半期前半には上昇基調で推移しましたが、景気の先行き不透明感の高まりや海外金融不安により、質への逃避の動きから金利は低下する動きとなりました。この結果、上半期末の国内長期金利は対前年度末0.205%低下の1.480%となりました。

円ドルの為替相場は、米国経済への懸念が後退していくに従い、ドルが買われる展開となりましたが、9月に米大手金融機関の破綻など金融システムの混乱が生じると一転して円が買われました。この結果、当年度末の円ドルレートは対前年度末3円28銭円安ドル高の103円57銭となりました。円ユーロの為替相場は、上半期末において対前年度末9円14銭円高ユーロ安の149円05銭となりました。

### (2) 運用方針

当社は流動性に最重点をおいた資産配分を行っており、次いで安全性、収益性の優先順位に基づく資産運用を行っています。具体的には、短期資金を十分に確保しつつ、長期に安定した利息収入の確保を目指す観点から高格付けの円建て公社債を中核とした運用を行っています。

### (3) 運用実績の概況

平成20年度上半期末の一般勘定資産は、前年度末より612百万円増加の30,187百万円となりました。主な資産構成は公社債73.9%、外国証券7.4%、その他の証券3.2%となっています。資産運用関係損益は、利息及び配当金等収入を117百万円、投資信託の評価損を56百万円計上しました。

### 3. 資産運用の実績（一般勘定）

#### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成19年度 第2四半期（上半期）末		平成20年度 第2四半期（上半期）末		平成19年度末	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	4,238	26.2	2,044	6.8	3,114	10.5
買現先勘定	-	-	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-	-	-
有価証券	9,918	61.4	25,529	84.6	24,147	81.6
公 社 債	7,253	44.9	22,322	73.9	20,856	70.5
株 式	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	1,966	12.2	2,226	7.4	1,944	6.6
公 社 債	1,966	12.2	2,226	7.4	1,944	6.6
株 式 等	-	-	-	-	-	-
その他の証券	698	4.3	980	3.2	1,346	4.6
貸付金	-	-	-	-	-	-
不動産	34	0.2	33	0.1	35	0.1
繰延税金資産	1,543	9.6	2,049	6.8	1,683	5.7
その他	427	2.6	529	1.8	593	2.0
貸倒引当金	-	-	-	-	-	-
合 計	16,164	100.0	30,187	100.0	29,575	100.0
うち外貨建資産	-	-	-	-	-	-

(2) 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)	平成19年度
現預金・コールローン	1,328	1,069	204
買現先勘定	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-
商品有価証券	-	-	-
金銭の信託	-	-	-
有価証券	700	1,382	14,928
公社債	372	1,465	13,229
株式	-	-	-
外国証券	374	282	352
公社債	374	282	352
株式等	-	-	-
その他の証券	698	365	1,346
貸付金	-	-	-
不動産	2	1	1
繰延税金資産	344	366	484
その他	9	64	156
貸倒引当金	-	-	-
合 計	2,362	612	15,773
うち外貨建資産	-	-	-

### (3) 資産運用収益

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)	平成19年度
利息及び配当金等収入	56	117	133
預貯金利息	3	4	8
有価証券利息・配当金	52	112	125
貸付金利息	-	-	-
不動産賃貸料	-	-	-
その他利息配当金	-	-	-
商品有価証券運用益	-	-	-
金銭の信託運用益	-	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-	-
有価証券売却益	-	-	-
国債等債券売却益	-	-	-
株式等売却益	-	-	-
外国証券売却益	-	-	-
その他	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	-	-
その他運用収益	-	-	-
合 計	56	117	133

### (4) 資産運用費用

(単位：百万円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)	平成20年度 第2四半期(上半期)	平成19年度
支払利息	-	-	-
商品有価証券運用損	-	-	-
金銭の信託運用損	-	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-
国債等債券売却損	-	-	-
株式等売却損	-	-	-
外国証券売却損	-	-	-
その他	-	-	-
有価証券評価損	-	56	210
国債等債券評価損	-	-	-
株式等評価損	-	-	-
外国証券評価損	-	-	-
その他	-	56	210
有価証券償還損	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	-	-	-
貸倒引当金繰入額	-	-	-
貸付金償却	-	-	-
賃貸用不動産等減価償却費	-	-	-
その他運用費用	-	-	-
合 計	-	56	210



(5) 売買目的有価証券の評価損益

該当ありません。

(6) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位:百万円)

区 分	平成19年度第2四半期(上半期)末					平成20年度第2四半期(上半期)末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
			うち差益	うち差損				うち差益	うち差損	
満期保有目的の債券	7	7	0	0	0	1	1	0	0	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	10,042	9,911	130	39	170	25,751	25,527	223	123	347
公 社 債	7,220	7,246	25	38	13	22,201	22,320	118	123	4
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	1,995	1,966	29	0	30	2,569	2,226	342	-	342
公 社 債	1,995	1,966	29	0	30	2,569	2,226	342	-	342
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	825	698	126	-	126	980	980	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	10,049	9,918	130	39	170	25,753	25,529	223	123	347
公 社 債	7,228	7,253	25	38	13	22,203	22,322	118	123	4
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	1,995	1,966	29	0	30	2,569	2,226	342	-	342
公 社 債	1,995	1,966	29	0	30	2,569	2,226	342	-	342
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	825	698	126	-	126	980	980	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(単位：百万円)

区 分	平成19年度末				
	帳簿価額	時価		差損益	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	7	7	0	0	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-
その他の有価証券	24,094	24,139	45	198	153
公 社 債	20,653	20,848	194	198	3
株 式	-	-	-	-	-
外 国 証 券	2,094	1,944	149	-	149
公 社 債	2,094	1,944	149	-	149
株 式 等	-	-	-	-	-
その他の証券	1,346	1,346	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
合 計	24,102	24,147	45	198	153
公 社 債	20,661	20,856	194	198	3
株 式	-	-	-	-	-
外 国 証 券	2,094	1,944	149	-	149
公 社 債	2,094	1,944	149	-	149
株 式 等	-	-	-	-	-
その他の証券	1,346	1,346	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-

(注)時価のない有価証券はありません。

## (7) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

#### 4 . 中間貸借対照表

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	平成19年度中間会計期間末 (平成19年9月30日現在)		平成20年度中間会計期間末 (平成20年9月30日現在)		平成19年度末要約貸借対照表 (平成20年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
( 資産の部 )						
現金及び預貯金	4,799	22.9	2,126	5.3	3,447	9.1
有価証券	14,117	67.5	34,957	86.6	32,065	84.7
( うち 国 債 )	(7,253)		(22,322)		(20,856)	
( うち 外 国 証 券 )	(1,966)		(2,226)		(1,944)	
( うちその他の証券 )	(4,897)		(10,409)		(9,264)	
有形固定資産	57	0.3	66	0.2	69	0.2
無形固定資産	71	0.3	120	0.3	83	0.2
再保険貸	201	1.0	197	0.5	286	0.8
その他資産	135	0.6	861	2.1	207	0.5
繰延税金資産	1,543	7.4	2,049	5.1	1,683	4.4
資産の部合計	20,926	100.0	40,380	100.0	37,841	100.0
( 負債の部 )						
保険契約準備金	14,539	69.5	20,949	51.9	18,819	49.7
支払備金	1,685		2,097	5.2	1,962	5.2
責任準備金	10,026		15,551	38.5	13,610	36.0
契約者配当準備金	2,827		3,301	8.2	3,245	8.6
代理店借	127	0.6	51	0.1	81	0.2
再保険借	238	1.1	145	0.4	236	0.6
その他負債	423	2.0	197	0.5	108	0.3
退職給付引当金	103	0.5	131	0.3	128	0.3
価格変動準備金	4	0.0	11	0.0	8	0.0
負債の部合計	15,435	73.8	21,487	53.2	19,382	51.2
( 純資産の部 )						
持込資本金	4,743	22.7	17,243	42.7	17,243	45.6
剰余金	830	4.0	1,792	4.4	1,187	3.1
繰越利益剰余金	830		1,792		1,187	
持込資本金等合計	5,574	26.6	19,035	47.1	18,430	48.7
その他有価証券等評価差額金	83	0.4	142	0.4	28	0.1
評価・換算差額等合計	83	0.4	142	0.4	28	0.1
純資産の部合計	5,490	26.2	18,893	46.8	18,459	48.8
負債及び純資産の部合計	20,926	100.0	40,380	100.0	37,841	100.0

## 5. 中間損益計算書

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	平成19年度中間会計期間 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)		平成20年度中間会計期間 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)		平成19年度要約損益計算書 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
経常収益	10,653	100.0	10,750	100.0	23,777	100.0
保険料等収入	10,595		10,633		23,642	
(うち保険料)	(10,394)		(10,359)		(23,185)	
資産運用収益	56		117		133	
(うち利息及び配当金等収入)	(56)		(117)		(133)	
その他経常収益	0		0		2	
経常費用	8,765	82.3	8,184	76.1	19,602	82.4
保険金等支払金	2,877		3,891		6,231	
(うち保険金)	(1,512)		(1,684)		(3,077)	
(うち給付金)	(1,035)		(1,822)		(2,323)	
(うち解約返戻金)	(6)		(11)		(33)	
(うちその他返戻金)	(56)		(51)		(263)	
責任準備金等繰入額	4,403		2,075		8,265	
支払備金繰入額	592		134		869	
責任準備金繰入額	3,810		1,940		7,395	
資産運用費用	143		677		2,160	
(うち有価証券評価損)	(-)		(56)		(210)	
(うち特別勘定資産運用損)	(143)		(620)		(1,949)	
事業費	1,281		1,468		2,803	
その他経常費用	59		72		142	
経常利益	1,888	17.7	2,565	23.9	4,175	17.6
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	2	0.0	3	0.0	10	0.0
契約者配当準備金繰入額	1,418	13.3	1,607	14.9	3,125	13.1
税引前中間純利益	467	4.4	955	8.9	*1 1,039	4.4
法人税及び住民税	473	4.4	618	5.8	892	3.8
法人税等調整額	301	2.8	268	2.5	505	2.1
中間純利益	296	2.8	605	5.6	*2 652	2.7
前期繰越利益剰余金	534		1,187		534	
繰越利益剰余金	830		1,792		1,187	

(注) \*1 平成19年度決算の税引前当期純利益

\*2 平成19年度決算の当期純利益

## 注記事項

(中間貸借対照表関係)

平成20年度中間会計期間末

### 1. 会計方針に関する事項

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券(現金及び預貯金のうち有価証券に準じるものを含む)の評価は、売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、その他有価証券のうち時価のあるものについては9月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっており、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。なお、その他有価証券のうち、企業会計基準適用指針第12号に定める「その他の複合金融商品に関する会計処理」の適用を受けるものについては、当該複合金融商品全体を時価評価し、評価差額を当期の損益に計上しております。

#### (2) 有形固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定額法により行っております。なお、動産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。

#### (3) 自社利用のソフトウェアの減価償却方法

無形固定資産に計上している自社利用のソフトウェアについては、利用可能期間に基づく定額法により行っております。

#### (4) 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債は9月末日の為替相場により円換算しております。

#### (5) 退職給付引当金の計上方法

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準(「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」平成10年6月16日企業会計審議会)に基づく小規模企業等における簡便法を採用し、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。

#### (6) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は、保険業法第199条において準用する同法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。

#### (7) 消費税の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

#### (8) 責任準備金の積立方法

責任準備金は保険業法第199条において準用する同法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については金融庁長官が定める方式(平成8年大蔵省告示第48号)により計算しております。

### 2. 有形固定資産の減価償却累計額は51百万円であります。

### 3. 保険業法第199条において準用する同法第118条に規定する特別勘定の資産の額は、10,193百万円であります。なお、負債の額も同額であります。

### 4. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

前年度末現在高	3,245百万円
当中間期契約者配当金支払額	1,551百万円
利息による増加等	-
契約者配当準備金繰入額	1,607百万円
当中間期末現在高	3,301百万円

### 5. 担保に供されている資産の額は有価証券40百万円であります。

### 6. 保険業法第259条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当中間期末における当社の今後の負担見積額は221百万円であります。なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。

7. 保険業法第190条にて定めのある保険契約者保護のための供託に関しては、BNPパリバ銀行による銀行保証契約をもってそれに代わるものとしているため、貸借対照表上純資産の部には表記されておりません。
8. 保険業法施行規則第160条において準用する同規則第73条第3項において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金（以下「出再支払備金」という。）の金額は25百万円、同規則第160条において準用する同規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金（以下「出再責任準備金」という。）の金額は330百万円であります。
9. 金額は記載単位未満を切捨てて表示しております。

（損益計算書）

平成20年度中間会計期間

1. 有価証券評価損の内訳は、その他の証券56百万円であります。
2. 支払備金繰入額の計算上足し上げられた出再支払備金戻入額は6百万円、責任準備金繰入額の計算上差し引かれた出再責任準備金繰入額は29百万円であります。
3. 利息及び配当金等収入の内訳は以下のとおりであります。

預貯金利息	4百万円
有価証券利息・配当金	112百万円
計	117百万円
4. 金額は記載単位未満を切捨てて表示しております。

## 6. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成19年度 第2四半期（上半期）	平成20年度 第2四半期（上半期）	平成19年度
<b>基礎利益</b> A	2,337	3,113	5,304
キャピタル収益	-	-	-
金銭の信託運用益	-	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-	-
有価証券売却益	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	-	-	-
その他キャピタル収益	-	-	-
キャピタル費用	-	56	210
金銭の信託運用損	-	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-	-
有価証券売却損	-	-	-
有価証券評価損	-	56	210
金融派生商品費用	-	-	-
為替差損	-	-	-
その他キャピタル費用	-	-	-
キャピタル損益 B	-	56	210
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	2,337	3,056	5,093
臨時収益	-	-	-
再保険収入	-	-	-
危険準備金戻入額	-	-	-
その他臨時収益	-	-	-
臨時費用	449	491	917
再保険料	-	-	-
危険準備金繰入額	449	491	917
個別貸倒引当金繰入額	-	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-	-
貸付金償却	-	-	-
その他臨時費用	-	-	-
臨時損益 C	449	491	917
経常利益 A + B + C	1,888	2,565	4,175

## 7. 債務者区分による債権の状況

該当ありません。

## 8. リスク管理債権の状況

該当ありません。

## 9. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成19年度 第2四半期 (上半期)末	平成20年度 第2四半期 (上半期)末	平成19年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	10,597	25,743	24,564
供託金等	200	200	200
価格変動準備金	4	11	8
危険準備金	3,727	4,686	4,195
一般貸倒引当金	-	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	130	223	40
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	0	-
持込資本金等	-	19,035	18,430
負債性資本調達手段等	-	-	-
控除項目	-	-	-
その他	6,796	2,033	1,689
リスクの合計額	3,751	4,680	4,210
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)			
保険リスク相当額 R1	2,717	3,366	3,024
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	944	1,182	1,064
予定利率リスク相当額 R2	-	0	-
資産運用リスク相当額 R3	207	324	308
経営管理リスク相当額 R4	78	101	91
最低保証リスク相当額 R7	78	206	180
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	564.9%	1,099.9%	1,166.8%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第161条、第162条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています(「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は告示第50号第1条第3項第1号に基づいて算出しています。なお、平成19年度第2四半期(上半期)末の「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」及び「持込資本金等」は「その他」に含まれています)。  
 2. 「供託金等」は、保険業法第190条にて定めのある供託金に代わる銀行保証契約の契約金額を記載しています。  
 3. 最低保証リスク相当額は、標準的方式を用いて算出しています。



## 10 . 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：億円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末		平成19年度末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人変額保険	-	-	-	-	-	-
個人変額年金保険	47	101	101	101	82	82
団体年金保険	-	-	-	-	-	-
特別勘定計	47	101	101	101	82	82

### (2) 保有契約高

・個人変額保険  
該当ありません。

・個人変額年金保険

(単位：千件、億円)

区 分	平成19年度 第2四半期(上半期)末		平成20年度 第2四半期(上半期)末		平成19年度末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	1	61	3	134	2	112
合 計	1	61	3	134	2	112

以上

(参考 - 1) 第2四半期会計期間の業績

・新契約高

(単位：千件、億円)

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間			
	件 数	金 額		
		新契約	転換による 純増加	
個人保険	0	0	0	-
個人年金保険	0	14	14	-
団体保険	-	-	-	-
団体年金保険	-	-	-	-

・新契約年換算保険料

(単位：億円)

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
個人保険	0
個人年金保険	1
合 計	1
うち医療保障・ 生前給付保障等	0

・主要収支項目

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
保険料等収入	5,801
資産運用収益	67
保険金等支払金	1,982
資産運用費用	1,081

・資産の増減(一般勘定)

(単位：百万円)

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
現預金・コールローン	126
買現先勘定	-
債券貸借取引支払保証金	-
買入金銭債権	-
商品有価証券	-
金銭の信託	-
有 価 証 券	682
公 社 債	1,356
株 式	-
外 国 証 券	132
公 社 債	132
株 式 等	-
その他の証券	541
貸付金	-
不動産	0
繰延税金資産	233
その他	159
貸倒引当金	-
合 計	948
うち外貨建資産	-

・資産運用収益（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
利息及び配当金等収入	67
預貯金利息	3
有価証券利息・配当金	64
貸付金利息	-
不動産賃貸料	-
その他利息配当金	-
商品有価証券運用益	-
金銭の信託運用益	-
売買目的有価証券運用益	-
有価証券売却益	-
国債等債券売却益	-
株式等売却益	-
外国証券売却益	-
その他	-
有価証券償還益	-
金融派生商品収益	-
為替差益	-
その他運用収益	-
合 計	67

・資産運用費用（一般勘定）

（単位：百万円）

区 分	平成20年度 第2四半期会計期間
支払利息	-
商品有価証券運用損	-
金銭の信託運用損	-
売買目的有価証券運用損	-
有価証券売却損	-
国債等債券売却損	-
株式等売却損	-
外国証券売却損	-
その他	-
有価証券評価損	74
国債等債券評価損	-
株式等評価損	-
外国証券評価損	-
その他	74
有価証券償還損	-
金融派生商品費用	-
為替差損	-
貸倒引当金繰入額	-
貸付金償却	-
賃貸用不動産等減価償却費	-
その他運用費用	-
合 計	74

・損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目		平成20年度第2四半期会計期間 (平成20年7月1日から 平成20年9月30日まで)	
		金 額	百分比
経 常 損 益 の 部	<b>経常収益</b>	5,869	100.0
	<b>保険料等収入</b>	5,801	
	保険料	5,609	
	再保険収入	192	
	<b>資産運用収益</b>	67	
	利息及び配当金等収入	67	
	預貯金利息	3	
	有価証券利息・配当金	64	
	<b>その他経常収益</b>	0	
	<b>経常費用</b>	4,564	77.8
	<b>保険金等支払金</b>	1,982	
	保険金	936	
	給付金	884	
	解約返戻金	7	
	その他返戻金	8	
	再保険料	145	
	<b>責任準備金等繰入額</b>	678	
	支払備金繰入額	9	
	責任準備金繰入額	669	
<b>資産運用費用</b>	1,081		
有価証券評価損	74		
特別勘定資産運用損	1,007		
<b>事業費</b>	784		
<b>その他経常費用</b>	38		
	<b>経常利益</b>	1,304	22.2
特 別 損 益 の 部	<b>特別利益</b>	-	-
	<b>特別損失</b>	2	0.0
	固定資産処分損	0	
	価格変動準備金繰入額	1	
	その他特別損失	0	
<b>契約者配当準備金繰入額</b>		803	13.7
<b>税引前四半期純利益</b>		499	8.5
<b>法人税及び住民税</b>		353	6.0
<b>法人税等調整額</b>		170	2.9
<b>四半期純利益</b>		316	5.4
<b>前期繰越利益剰余金</b>		1,475	
<b>繰越利益剰余金</b>		1,792	

・ 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		平成20年度 第2四半期会計期間
<b>基礎利益</b>	A	1,658
キャピタル収益		-
金銭の信託運用益		-
売買目的有価証券運用益		-
有価証券売却益		-
金融派生商品収益		-
為替差益		-
その他キャピタル収益		-
キャピタル費用		74
金銭の信託運用損		-
売買目的有価証券運用損		-
有価証券売却損		-
有価証券評価損		74
金融派生商品費用		-
為替差損		-
その他キャピタル費用		-
キャピタル損益	B	74
キャピタル損益含み基礎利益	A + B	1,584
臨時収益		-
再保険収入		-
危険準備金戻入額		-
その他臨時収益		-
臨時費用		279
再保険料		-
危険準備金繰入額		279
個別貸倒引当金繰入額		-
特定海外債権引当勘定繰入額		-
貸付金償却		-
その他臨時費用		-
臨時損益	C	279
経常利益	A + B + C	1,304

(参考 - 2) 証券化商品等への投資及びサブプライム関連投資の状況について

「金融安定化フォーラム(FSF)」のガイドラインを踏まえた、当社の証券化商品等への投資の状況は以下の通りです。

平成20年度上半期におけるサブプライム関連投資の実績はありません。

・投資状況

- (1)特別目的事業体 (SPEs) 一般  
該当ありません。
- (2)債務担保証券 (CDO)  
該当ありません。
- (3)その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー  
該当ありません。
- (4)商業用不動産担保証券 (CMBS)  
該当ありません。
- (5)レバレッジド・ファイナンス  
該当ありません。
- (6)その他  
該当ありません。

(参考) 投資信託

(単位：百万円)

	時 価		含み損益	実現損益
		参考： 平成20年3月末		
仕組債を主な投資対象とする商品	980	746	-	47

(注) 上記の残高に含まれる仕組債は、米ドル円の為替レート、豪ドル円の為替レート、日経平均株価を参照するデリバティブを組み込んだ債券です。

なお、実現損益には当上半期の損益に含まれた利息配当金収入と評価損益の合計を記載しています。

以 上